

2023年(令和5年)7月27日(木) NO 184号

## K-PURO NEWS

### 【事業所】

- ◆ 商号 株式会社 ケイプロ <https://k-puro.co.jp>
- ◆ 屋号 都市防犯プランニング社 mail info@k-puro.co.jp
- ◆ 本社 埼玉県蕨市中央1-7-1 シティタワー蕨 TEL 048-446-9445
- ◆ 千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20 江澤ビル TEL 043-243-6110

### 【業務内容】



機械警備 弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用



防犯カメラ 周辺環境・建物構造・人的要因を分析し、用途に沿ったカメラ選別と設置

メンテナンス 消防設備点検・消防設備工事の消防関連事業および AED 幹旋の管理業務

### 【加盟団体】



RID2770 川口モーニングロータリークラブ <https://kawaguchi-morning.jp/>



NPO 法人 さいたま起業家協議会 <https://saitama-kk.org/>



公益社団法人 千葉東法人会 <https://www.chibahojin.jp/>



公益財団法人 モラロジー道徳教育財団 <https://www.moralogy.jp/>

### 【応援団体企業】



我が国一の歴史と実績 since 1957  
公益財団法人 アイメイト協会



### 今月の言葉

### 喜びと働きがいの循環



仕事とは、趣味や娯楽のように楽しいことばかりではないかもしれません。

単調な作業が続いたりすると、苦痛を感じることもあるでしょう。

そんなときは「信頼されているから任せてもらったのだ」と考えて、目の前の仕事に地道に取り組みましょう。

そこで相手に喜ばれると「頑張ったかいがあった」という気持ちになるでしょう。

そのエネルギーをもって良い仕事をすれば、もっと喜んでもらえる。

そんな「喜びと働きがいの循環」ができると、

やる気もいっそう湧き上がるのではないのでしょうか。

今月の良い話

日本が誇った勤労観・仕事観

いまの日本では、松下幸之助が説いた教えや考え方がどんどん失われていっているように思うんです。

例えば、今年の1月に中央教育審議会が出した答申を見てみると、学校の先生の仕事の負担を減らすために、掃除などの雑用は外注の業者やボランティア団体に任せればよいと書いてある。それで思い出したのが、松下幸之助が松下政経塾の塾生に言った言葉です。

松下幸之助は松下政経塾に来るたびに、

「君らが立派な指導者になる第一の勉強は掃除や。朝起きたらしっかり掃除しいや」といつも言っていたのですが、塾生は「掃除なんて雑用をしている暇はない」と反発していました。その時に、松下幸之助は塾生を次のように諭したんです。

「君ら、日本の掃除をする前に、身の回りの掃除をせえ。身の回りの掃除ができない人間に、どうして日本の掃除ができるんや」

.....

いまの政治家や教育者には、どうしてそうした考え方、仕事観がないのだろうかとは残念に思います。おそらく、あまりにも受験競争が激しくなりすぎて、偏差値と学歴に直接繋がること以外は雑用、邪魔とみなしてしまう価値観になってしまったのでしょう。経営者意識、主人公意識をもって取り組めば、何事も自分を成長させる天職になるんです。掃除でもなんでも、十把一絡げに雑用だとみなしてしまう考え方が経営者や教育を司る人の中にあるというのはね、基本的に何かが間違っているんだと私は思いますよ。

.....

私も上甲さんと同じような思いがあります。本社企画室に配属された時に、最初の挨拶に行くでしょう。そうしたら、上司や先輩が私たちの顔を見てね、「君らは、ええ学校出て、ええ頭しとる。そやけどな、そういうやつほど、きちっと綺麗に掃除をして、仕事せえへんからな」と言うわけです。



それで、企画室で働くようになってびっくりしたのは、朝出社したら皆の机の上に資料やファイル一つ置かれてないんです。企画室は日々膨大なデータを扱いますから、業務中は資料や原稿用紙だらけなんですが、皆、綺麗に机を掃除して帰っていたと。上場している大会社でそんな職場はいまでも見たことはありません。

.....

だから、松下電器の強さの源泉は、戦術・戦略ではなく、どんな些細なこと、雑用でも人として大事なことはしっかりやる、社員一人ひとりの人間力なんですね。

これからの日本企業はもう一度その原点に立ち戻って、人としての本筋をきちんと身につけた人材を育てていく必要があると思います。松下幸之助は、お金ありきの経営ではいかん、儲けは自分たちの人間力で社会や人々に貢献した結果ついてくるんだと言っています。でも、いまはそれが全く逆になってしまっていますよ。

////////////////////////////////////

上甲 晃 (志ネット代表)      中 博 (中塾代表)      記事提供 致知出版社

今月の良い話

人間の三不幸

“伊川先生言ふ、人・三不幸あり。  
少年にして高科に登る、一不幸なり。  
父兄の勢に席よつて美官となる、二不幸なり。  
高才有つて文章を能くす、三不幸なり。

.....  
年の若いのにどんどん上へあがる。  
世の中はこんなものだと思ったら大間違いである。  
というのは修練というものを欠いてしまうことになるからで、  
これは不幸である。  
これは官ばかりではない。  
親のお蔭で若輩が重役になったりする、皆同じことである。  
又いろいろの勝れた才能があつて、  
文章を能くする、——文は飾る、表わすということで、つまり弁が立ったり、  
文才があつたりして表現が上手なこと——これも大きな不幸である。



今日は選手万能の時代で、野球とか、歌舞とか、  
若くて出来る者にわいわい騒ぐ。  
これは当人にとって大きな不幸であります。  
若くてちょっと小説を二つ三つ書くと、  
忽ち流行作家になって大威張りする。  
小娘がちょっと歌や踊りが出来ると、やれテレビだ、  
映画だ、とひっぱり出して誇大に宣伝する。  
つまらない雑誌や新聞がそれを又デカデカと報道する。  
変態現象というか、実に面妖なことで、決して喜ばしい  
現象ではないのであります。

.....  
というのは、人間でも動物でも、或は又植物でもなんでもそうではありますが、  
本当に大成させるためにはそれこそ朱子の序文にある通り、  
「習・知と与に長じ、化・心と与に成る」、  
という長い間の年期をかけた修練・習熟というものが要るのであります。  
決してインスタントに出来上がるものではない。  
特に幼・少時代というものは、出来るだけ本人自身の充実・大成に力を注いで、  
対社会活動などは避けた方が良いのであります。  
又自からも避ける心掛けが大切で、それでこそ大成出来るのであります。  
これを忘れて、外ばかり向いて活動しておると、  
あだ花のように直ぐ散ってしまう。

/////////  
安岡 正篤 (易学者・哲学者・思想家)

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO184 不審者が着用する服の色



黒	49.1%
白	13.3%
青	9.3%
灰色	8.7%
茶色	5.1%
肌色	2.8%
緑色	2.5%
銀色	2.3%
赤	2.2%
水色	1.6%
黄色	0.9%
オレンジ	0.7%

不審者が着用する服の色と検索したところ、左記の情報が記されました。

これはガッコム安全ナビという犯罪データを提供するサービス会社で、子供たちの安全を図る情報提供を行うことから発展したサービスのようです。

不審者が着用する服の色で一番

多いのが黒色で49.1%とほぼ半分を占めます。次いで白色(13.3%)となり、モノトーン色で6割強となります。次に青色、灰色と続き、これは調査開始時より変わっていないそうです。青色は意外と思いましたが、痴漢等の多い夏場に青色着用が多いのかもしれませんが。地域別で見た火災報の情報も誤報をそのまま掲示していたり、情報が今一つ不明確のため参考程度に留めておいて下さい。

プロ太の小話集 NO184 「遅刻の理由」

教師「どうして遅刻したんだ？」

生徒「道で五千円札をなくして困っている人がいたんです。」

教師「探すのを手伝ってあげていたので遅刻したってことかい？ いい話じゃないか。」

生徒「いいえ。五千円札の上に立ってたんで動くわけにできなかったんです。」

//////////  
今月の表紙の花 : ゼラニウム「信頼」

連日ビッグモーターのニュースがTVを賑わしています。

どうやら息子さんが経営に関わるようになってから急拡大はしたものの、その裏では信頼を損なういびつな行為が蔓延していたようです。



ALSOKの創業者村井順氏が人間の評価を4つのランクに分けて説明されていたのを思い出します。

Aランクの人は「能力も優れ、性格も立派な人」、

Bランクの人は「能力は低い、性格の良い人」、

Cランクの人は「能力も低いし、性格も悪い人」、

Dランクの人は「能力は優れているが、性格の悪い人」と分けられています。

Dランクの人は、能力が大きいために、その悪い性格が大きく現れ、いわゆる大きな悪のできる大悪党となる危険があると説いています。優秀な大学を卒業し、MBAを取得されたビッグモーターの息子さんもこのランクに当てはまるのかもしれませんが。

注: プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)